

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 88

2026年5月発行

この春に思うこと



当法人は、2014年に放課後等デイサービスを開始し、福祉サービス事業を始めました。その当時から、障害児者が、「利用者として扱われる」こと、「障害者がサービスの消費者にされている」ことに抵抗を感じていたのですが、最近、障害児者を対象とした福祉サービス事業所が増えて、様々な問題も聞こえてきて、考えさせられる日々です。

障害児を対象にした児童発達支援事業や放課後等デイサービスでは、障害に対応するためのノウハウが重要視されたり、能力向上が重視された支援が多く行われたりしているように感じます。自分で身の回りのことができるようになったり、勉強がわかるようになったりすると、保護者も安心して成長を感じるのかもしれませんが、できるようになることに目標が置かれ、子どもが頑張ることを強いられています。一方で、子どもを長く車に乗せて運んでいたり、放課後等デイサービスからの勧めで支給日数を増やすお子さんがいたりします。私たちは日々、悩みながら、子どもたちと共に歩んでいます。頑張ったり達成感を感じたりすることは大切なことですが、子どもの主体性を育み、子どもが自分や他者を大切に思えるようになるには、その体験を丁寧に積み重ねていくことが必要だと思えます。

障害児相談支援では、様々な関係機関と連携をしながら、子どもの成長を見守っていますが、この春も、就学に向けて、学校や療育先と話をする機会が多くありました。就学先を決めるのは本人と保護者のはずですが、医療や福祉の専門職からのアドバイスに、自分の希望を言えずにいた保護者もおられました。学校に相談に行くと、安心される保護者もいれば、不安が大きくなる保護者もおられました。障害の重さにかかわらず地域の学校を選ぶ権利があることとお話すると、地域への一歩を踏み出された保護者さんもおられました。保護者の想いを受けとめて、背中を押すのも相談の仕事の一つだと思っています。

障害福祉サービスについてもいろいろと考えさせられることがあります。サービスありきで、サービスに障害当事者を当てはめるような相談員や事業所もあるようです。障害当事者が、来月の○日には△に行きたいと思っても、ヘルパー派遣の事業所から契約した曜日や時間帯でないからできないと対応されたという話を聞きました。ヘルパー不足の時代ですから、何とか調整しようと思ってもできない厳しさはあるのかもしれませんが。グループホームも増えていますが、誰とどこに住むのか、本当に当事者が決めることができているのか疑問で

す。この事業所に断られては困るからと、不当な対応に対して、NO が言えない方々が多いのではないかと危惧しています。

福祉の仕事は、人に喜んでもらえるのが嬉しいからだけでは務まらない仕事です。そして、知識や技術だけではできない仕事です。先に述べたような現状は、何が欠けているのだろうと考えた時、それは人権に対する意識だと思いました。福祉サービス事業所には人権擁護の研修等が義務付けられていますが、それはちゃんと機能しているのでしょうか。自分たちが障害福祉サービスという名のもとに、障害者から様々な搾取をしてはいないか。ノウハウや利益や、成果を上げることが優先されて、障害者の人権を侵していることに気づかずに、当事者のためと思いついで支援をしてはいないか。いろいろな疑問や気づきに、立ち止まり考えていきたいと思います。自分自身が、当事業所が、当法人が、しっかりと「人権」や「いのち」のことを考えて、こどもや家族に向き合い、その声に耳を傾けているのかを考えながら、地道に試行錯誤を続けていきたいと、改めて思う春です。

(地域生活サポートネットほうぶ 向井裕子)



放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

新年度が始まり、新一年生を迎えました。小学校低学年が増え、春休みは、連日やってくる子どももいてにぎやかでした。毎日のクッキング、卒業進級お祝いのおやつ作りウィーク等、ほうぶの台所は休む暇がありません。食育というほどの取り組みはしていませんが、食べることは、命につながる大切なことだと思いつながりながら、子どもたちの体験を広げています。

前号発行から3か月余りの間、創作活動、クッキング、グループワークや公園遊びなどいろんな活動をしてきました。子どもたちは本当に元気です。クッキングは、カレーライス、焼きそば、お好み焼き、ハンバーグ、チャーハン、オムライス等の定番メニューに加え、1月は、お雑煮や豚バラ大根、3月には、ちらし寿司や豆ごはん等、季節を感じるメニューもありました。大きなカボチャをいただいたので、手の込んだカボチャのポタージュスープも作りました。創作活動では、「ずぼんぼ」という江戸時代のおもちゃを手作りして遊びました。書初めや羽子板作りをしたり、鬼を作ったり、写真たてを作ったり、季節を感じる工作もしました。創って遊ぼうの活動も日常的に行いました。グループワークは、冬休みの思い出を報告しあったり、2025年度を振り返って2026年度にしたいことを発表したりしました。公園遊びや感覚統合遊具を使って、身体もしっかりと動かして遊びました。

イベントも、防犯訓練、ほうぶ商店、音楽鑑賞、体ほぐし、清水フェスティバルへの出店、公園の清掃活動、お花見遠足など、盛りだくさんでした。防犯訓練は、旭警察の方に来ていただき、不審者が侵入した時の対応や交通ルールについて、ロールプレイを交えて学びました。暖かくなってきた3月には、いつも遊んでいる公園の清掃をしました。様々な活動での体験が、子どもたちの中に積み上げていけるように、日々、今日の予定たてと振り返りの時間を設けています。

グループワーク

ずぼんぼ

感覚統合遊具

工作



ほうぶ商店

1月31日(土) 13:30~15:00 参加者:子ども11名 ボランティア4名

駄菓子や雑貨の販売、工作コーナー、そして、読み聞かせをしました。子どもたちは看板づくりや販売する商品づくりなどをして準備をしてきました。昨年から学校前でのチラシの配布ができなくなり、子どもたちや近隣の方々にどのように広報するかが課題となっています。公園の掲示板に掲示してもらい、小学校にもポスターを貼ってもらいました。それでも、以前ほどの来客はありませんでしたが、子どもたちがゆっくりと販売の体験をするにはいい感じの人出でした。工作コーナーでは、「ずぼんぼ」を作って遊ぶ体験をしてもらいました。

年明けに創作活動で「ずぼんぼ」を作った子どもたちが、お客さんに遊び方をレクチャーしていました。



音楽鑑賞 ~ハーフ演奏会~

2月14日(土) 14:30~15:00

参加者:子ども8名 ボランティア2名 地域の方々11名

ハーフ奏者の方に来ていただき、音楽鑑賞会を開きました。地域の方々にもチラシをお渡ししたところ、ご婦人方がたくさん来てくださいました。美しい音色にうっとりしてしまいました。子どもたちもハーフを触らせていただき、嬉しそうでした。

〈感想から〉

- ◇ こんな近くで珍しい楽器に触れさせていただけてありがたいです。テレビでは聴いたことはあったのですが、思ったよりもやわらかく心に響くものがありました。
- ◇ ハープの音色を初めて聴かせていただきとても感動しました。心に響く音色でした。元気になりました。



清水フェスティバル

3月1日(日) 10:00~15:00 参加者:子ども7名 ボランティア5名

毎年、3月に近くの清水小学校で開催される清水フェスティバルに今年も参加しました。ほうぶ商店の出張です。子どもたちが作ったものを子どもたちが販売し、法人スタッフが作って遊べる工作コーナーを担当しました。子どもたちは、店番をしたりあちこちのお店を回って遊んだり食べたりして楽しみました。子どもたちが描いた絵がプリントされたエコバッグは早々

に完売しました。遊びに来られた保護者さんが、「えっ、うちの子が描いたのが売れたんですか？」と嬉しそうに驚かれました。はい！1点ものですから、個性爆発ですから。手作りのコースターやレジンの作品も売れて、店番の子どもたちも嬉しそうでした。創って遊べる工作コーナーは、牛乳パックを使った万華鏡。わ、すごい！と喜んでくれる小さなお客さんに嬉しくなりました。商品が売れたり店番を頑張ったりした子どもに、売り上げの一部からお給料を渡しました。働いて報酬を得る練習です。この体験が未来につながりますように。



お花見遠足

3月28日（土）10：00～17：00 参加者：子ども6名 ボランティア3名

子どもたちが自分で作ったお弁当を持って、鶴見緑地公園まで遠足に行きました。朝から自分たちでおにぎりを作って、卵焼きとウインナーを入れて、お弁当を作りました。卵焼きは、「昨日、うちで練習した」という小2男子が、「うちでは白出しを入れたけど、ほうぶには白出しが無いから、代わりに…」等と言いながら、上手に作ってくれました。桜は七分咲きでしたが、桜を見たり丘の上に登ったり、子どもたちは、アルバイトやボランティアの大学生さんたちと思い思いに過ごしました。暑いぐらいの陽気でしたが、みんなよく歩きました。



障害児相談支援 「相談支援ほうぷ」報告

この春は、9名の就学児童の相談担当をしました。保育所や幼稚園への訪問、小学校への訪問など、たくさんの先生方とお話をする機会がありました。門出の春が希望いっぱいでありますように。不登校のお子さんも何名か担当しています。学校に行かなくても、放デイに通って、スタッフや友だちとかかわることができている子もいれば、学校に行けなくなって外出さえできなくなる子どももいます。中学校にほとんど通えなかった子どもが、通信制高校に進み、楽しく学校生活を送ったりアルバイトをしたりしているのを見て、うれしくなることもあります。保護者の方々や児童発達支援や放課後等デイサービスの職員とお話することが多いのですが、それぞれの子どもの想いを受け取りたいと思いながら仕事をしています。

●おしらせ●

おやこひろば ほうぷ 2026年度の活動

つくってあそぼう!

音楽であそぼう♪



6月 7日(日)

9月13日(日)

12月13日(日)

2026年3月14日(日)

いずれも10時30分～11時30分

(事前にお申し込みをお願いします)

ゆったりゆるーく
楽しくすごせる場です

いろんな楽器をさわったり、
創作を楽しんだり、
読み聞かせがあったり♪



国産の綿を使った工作や手軽に作って遊べる工作など

ほうぷ よる カフェ 2026年度の活動

毎月第3金曜日の18:30～20:30に開催しています。いつ来ていつ帰ってもOK!

会場：ほうぷプレイルーム（旭区清水2-16-22）

対象：小学校高学年～高校生（小学生は、保護者と相談して、一緒に来てね）

勉強、みてほしいー

おしゃべりしたい

だれかとボードゲームしたい

ほっとしたい…

4月のよるカフェは、桜餅を作って食べたよ。

<「おやこひろばほうぷ」と「ほうぷよるカフェ」の会場とお問い合わせ先>

NPO 法人地域生活サポートネットほうぷ

住所 旭区清水2-16-22 TEL 06-6953-2665

Mail houpu@r.river.sannet.ne.jp

<旭区地域自立支援協議会 こども部会からのお知らせ>

しょう
「障がいのある」
はったつ き
「発達の気になる」
こどもさんとご家族のための
かぞく
「就学・進学なんでも相談会」を開催します

小学校への就学、中学校への進学、中学校卒業後の進路のことなどで、困ったり悩んだりしていませんか？

旭区地域自立支援協議会こども部会と相談支援部会のメンバーが、お待ちしております。
どうぞ、お気軽にご相談ください！

《 日 時 と 場 所 10:00~12:00 》 受付は11:30まで

令和8年

※暴風警報等が発令された場合は中止となります。

6月 2日 (火)	高殿小学校 多目的室	6月23日 (火)	古市小学校 控室
6月 5日 (金)	城北小学校 ふれあいルーム	7月 2日 (木)	新森小路小学校 北会議室
6月10日 (水)	高殿南小学校 多目的室	7月 6日 (月)	太子橋小学校 ミーティングルーム
6月12日 (木)	大宮西小学校 多目的室	7月 9日 (木)	大宮小学校 生涯学習ルーム
6月15日 (月)	清水小学校 会議室	7月18日 (土)	旭区役所 3階第2・3会議室
6月19日 (金)	生江小学校 カウンセリングルーム		

※ 事前予約は必要ありません。ご都合の良い日程にお越しください。

※ 予約制ではないため、お待ちいただくこともあります。時間に余裕をもってお越しください。

※ 各小学校に入る際にはインターホンを押して「就学・進学なんでも相談会」とお伝えください。

※旭区役所での実施日は閉庁していますので、東側通用口にお越しください。

※ 各小学校へのお問い合わせはご遠慮ください。

お問い合わせ 旭区役所 福祉課 (地域福祉) 06-6957-9857

主催：旭区地域自立支援協議会 こども部会

<就学進学なんでも相談会は、旭区地域自立支援協議会独自の取り組みです>

● 法人内の活動報告 ●

- 1月16日(金) ほうぶよるカフェ (ほうぶ)
- 1月18日(日) 法人理事会 (ほうぶ)
- 1月29日(木) 虐待防止委員会 (ほうぶ)
- 2月15日(日) 独立型社会福祉士実践報告会に参加 (大阪社会福祉会館)
- 2月20日(金) ほうぶよるカフェ (ほうぶ)
- 4月23日(木) 事業所内職員研修「身体拘束の適正化」(ほうぶ)
- 4月24日(金) 虐待防止委員会 (ほうぶ)



● 地域活動等報告 ●

- 1月13日(火) ブックスタート (ほうぶ) 参加者1組
- 1月15日(木) 地域自立支援協議会こども部会事前打合せ (旭区役所)
- 1月21日(水) 清水地域子育て支援ネットワーク会議定例会 (清水小学校)
地域自立支援協議会本会定例会 (旭区役所)
清水地域活動協議会 (清水フェスティバル打合せ) (清水小学校)
- 1月23日(金) 地域自立支援協議会事業所連絡会〔児童〕定例会 (旭区役所)
- 1月27日(火) 地域自立支援協議会こども部会定例会 (旭区役所)
- 2月18日(水) 清水地域活動協議会 (清水フェスティバル打合せ) (清水小学校)
- 3月1日(日) 清水フェスティバルに参加 (清水小学校)
- 3月4日(水) 地域自立支援協議会事業所連絡会〔児童〕研修会「防災」(旭区役所)
- 3月6日(金) 子育て支援「あさひの輪」定例会 (旭区社協)
- 3月8日(日) おやこひろば ほうぶ (ほうぶ) 参加者5組
- 3月10日(火) 旭区小学校校長会にて「就学進学なんでも相談会」のお願い (旭区役所)
ブックスタート (ほうぶ) 参加者0組
- 3月18日(水) 地域自立支援協議会本会定例会 (旭区役所)
- 4月15日(水) 地域自立支援協議会相談支援部会定例会 (旭区役所)
- 4月27日(月) 旭区中学校校長会にて「就学進学なんでも相談会」のお願い (旭区役所)

今年体調第一と思ったのに、1月に一過性黒内障が起り、MRI やら心電図やら検査を受けることになりました。年齢的にいろいろ支障も出てくるのでしょうか。1月末に友人に誘われて MISIA のコンサートに行きました。よかったー!! と感動していたら、その後、体調を崩し、2月には友人とのランチをキャンセル、3月にはぎっくり腰で友人たちとの久々の飲み会をパス。なかなか友人たちと逢うことができずにいます。

気温の変化が大きく、体調を崩している人が多いようです。花粉や黄砂でアレルギーも出やすい季節です。みなさん、気をつけてお過ごしください(む)

